

患者の皆様へ

2024年11月25日

整形外科

リハビリテーション部では、圧迫性頸髄症において術前の生活空間の評価と身体機能に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2019年4月1日～2024年11月30日まで当院整形外科で頸髄症と診断され手術前にリハビリテーションを実施された方

1. 研究課題名

「圧迫性頸髄症の術前の生活空間に対する評価：後方視的観察研究」

2. 研究期間

2024年承認日～2025年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

当院では、圧迫性脊髄症に対して、術前からリハビリテーションを実施しています。本研究では、筋力や歩行能力などの下肢機能の影響が、日常生活活動から社会参加を含めた生活空間において、具体的にどのような動作や活動が生活空間の範囲に影響を及ぼすのかを明らかにすることでリハビリテーションの介入の具体的方法について検討できることを目的としています。

情報収集の方法は、2019年4月1日～2024年11月30日までの間に通常診療の際、術前評価をした方を対象に2019年4月1日～2024年11月30日までの診療情報を調査させていただきます。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置き換えた情

報は千葉大学大学院整形外科医局で解析がおこなわれます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている身長、体重、病歴、頸髄症の重症度、歩行能力
リハビリテーション時に実施された評価および内容
評価：筋力、歩行評価、バランス評価、生活空間に関する質問紙評価

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：整形外科 医師 古矢丈雄

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学大学院医学研究院整形外科学医局において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 利益相反

研究の実施に際して、企業の利益のために公正で適正な判断がさまたげられている状態、またはそこなわれるのではないかと第三者に疑われる状態になることがあります。このような状態を「利益相反」といいます。

本研究は、科学研究費と日本損害保険協会 2024 年度交通事故医療一般研究助成の奨学寄附金にて研究を行います。研究の実施にあたっては、資金について事前に倫理審査委員会へ申告して審査を受けており、利害関係について公平性を保つように管理されています。学会発表や論文公表に際しても、資金に関して公表し、透明化を図ることとしています。

8. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。
情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院

理学療法士 土井 佑夏

043(222)7171